

学習内容報告書 フォーマット

学校名	海陽町立宍喰小学校
授業者	堀江千晴

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「宍喰の宝」 調査・発信！ ～自然編～

1-2. 学年

第4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

今年度の総合的な学習の時間は、宍喰の自然・歴史・文化を学習材として探究活動を行い、調べて分かったことをスライドにまとめ、町外の小学校の友達に「宍喰の宝」としてPRする。

宍喰地区には、川や海、山といった自然環境に恵まれ、また自生する植物や生き物も豊富である。竹ヶ島の生物環境の調査を実施した。磯の観察をはじめ、海中観光船での生物量の目視調査や環境 DNA 魚類調査なども行った。

町の多様な魅力に気づき、ふれ、興味をもって探究活動を進めることで、日頃よりそれらとのつながりや関わりをもって生活していることを実感し、宍喰への親しみを深めるとともに、宍喰のよさを社会へ広めていく。



1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童は、学習への意欲関心が高く、新しいことへも興味をもって取り組むことができる。

3年生の総合的な学習の時間や社会科の学習では、宍喰の町の様子や行事などを調べ、身近な地域への興味や関心は高まってきている。しかし、知識として情報は知っているが、体験を通して感じたり気づいたりする経験は多くはない。そこで地域の自然や人々のと関わり、宍喰のよさを五感を通して感じることで、地域へ親しみを育てるようにしたい。

そこで、自然や宍喰について詳しい方からお話を聞き、体験する活動を取り入れることにより、課題意識を持つことができるようにする。また振り返り等で共有した課題意識をもとに、「これから何をしていくのか」「問題を解決していくにはどうしたらよいのか」「どのように、分かりやすく相手に伝えていくか」を話し合い、身につけた知識や能力を活用・発揮できるようにする。「宍喰の宝」を調査・発信することで、地域の魅力や人との関わり方のよさを再認識できるようにする。

1-6. 育みたい資質や能力, 態度

<p>(1) 様々な人と関わり体験することで、宍喰のよさを五感を通して感じとり、地域へ親しみを持てるようにする。</p> <p>(2) 自分も宍喰の地域の一員であることを自覚し、宍喰の自然や歴史、文化を大切しながら、宍喰の魅力を誰に対してもわかりやすく伝えられる力をつける。</p> <p>(3) また、豊かな海や生物などの自然や地域で伝わる文化を自分たちも守り続けていけるようにする。</p>

1-7. 単元の展開 (全12時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>【オリエンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宍喰の宝」ってなんだろう。 ・自分たちが知っている宍喰のいいところをあげて、調査する計画を立てる。 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宍喰の海の生き物について、調査グループの意見を受け入れ、参考にしながら、学習の計画を立てようとしている。 <p>【主な評価】 思考・判断・表現</p> <p>【外部連携】</p> <p>海陽町役場商工観光課</p>
5	<p>【「宍喰の宝～自然編～」調査！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宍喰の町の自然や生き物について調べる。 ・海の生き物について調べたり、環境の豊かさについて調べたりする。 ・黒潮の流れを体感して、季節来遊魚が宍喰の海に来る理由を体験して考える。 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや図書資料、体験活動やインタビュー等の調査活動によって、「宍喰の宝～自然編～」についての情報を収集できるようにする。 <p>【主な評価】</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現</p> <p>【外部連携】</p> <p>中島茂範 (牟岐少年自然の家 海洋環境学習アドバイザー)</p> <p>【使用教材等】</p> <p>網・生物観察ケース・ライフジャケット・タブレットケース</p>
4	<p>【「宍喰の宝～自然編～」発信！にむけて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宍喰の宝」について調べたことを、プレゼンテーションアプリを使って写真や図、文章でまとめ、ウェブ会議システムアプリで隣町の牟岐小学校4年生に発信するまとめをする。 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宍喰の宝～自然編～」について調べたことを、ICTを活用して写真や図、文章でまとめ、発信しようとしている。 <p>【主な評価】 知識・技能</p>
2	<p>【「宍喰の宝～自然編～」発信！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報をもとに、宍喰の魅力が伝わるようにまとめ、表現する。 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報をもとに、宍喰の魅力が伝わるようにまとめ、表現している。 <p>【主な評価】 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査・発信する活動を通して、様々な人との関わりのよさに気づき、宍喰に生きる一人として親し

		<p>みをもって生活しようとしている。</p> <p>【主な評価】主体的に学習に取り組む態度</p> <p>【外部連携】</p> <p>牟岐町立牟岐小学校</p> <p>【使用教材等】タブレット</p>
--	--	---

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 1 2 時間中の 4, 5 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

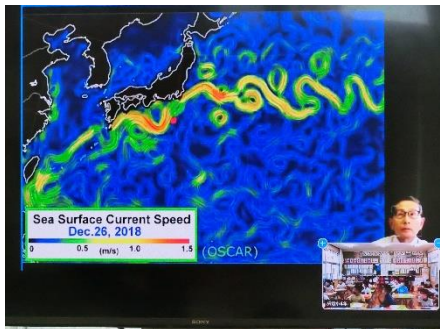
宍喰（竹ヶ島）の海の生き物を採集・写真撮影して調べたり、生物量について調べたりして、宍喰の自然環境の豊かさに気づくことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 本時の活動の確認</p> 	<p>○本時のめあてを提示する。 ○学習の流れを提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯観察の注意 ・生物量調査の仕方 ・指標生物について ・まとめ方
<p>2 宍喰の海（竹ヶ島）にて、磯観察・生物量調査 干潮の潮だまりにいる生物を採集・撮影したり、指標生物をさがしてワークシートに記入したりする。</p> 	<p>○班ごとにタブレットを携帯させ、見つけた生き物を撮影したり、環境の豊かさを図る指標生物を紹介したりする。/主体的に学習に取り組む態度 (観察・ワークシート)</p>
<p>3 まとめ 宍喰の海的环境について わかったことを まとめる。</p> 	<p>○見たこと感じたことを発表し合い、指標点数をみんな確認し、宍喰の海の豊かさを確認させる。 /思考・判断・表現（発表・ワークシート）</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ・体験を通して感じたり気づいたりする経験ができた。
- ・さらに調べてみたいこと（海の生き物について、環境を守るためにできることなど）が、児童からの発言から自然とでてきた。
- ・魚類調査など年間を通して、取り組む課題を見つけることができた。
- ・潮の満ち引きや黒潮の流れなどを知る学習を通して、季節来遊魚と関連付けた発展した学習につながった。



4. 今後の課題

- ・磯観察の時間配分をもう少し長く設定する必要がある。
- ・コロナウィルス感染症対策のため、調査する際の人数制限をするなど、回数を分けて目視調査等を行う必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・特になし。